

Saturday

My dear Sir

I am canvassing very earnestly for the following candidates for the Athenaeum, several of whom you probably intend to vote for, and if you would do as much for the remainder, you would greatly oblige me.

Mr Charles Austin

John Sterling

Coulson

John Fonblanque

Charles Buller M.P.

Charles Romilly

A. Hayward

James Booth

W^m Ogle Carr²

I can strongly certify the fitness of all except the last, who is strongly recommended by Mr George Bentham.³

Yours very truly

J.S. Mill

注 1 日本大学法学部所蔵自筆書簡。日付は別の人間の筆跡だが、消印から証明される。宛先は、パウリング博士 ミルマン・ブレイス 5 番 ベッドフォード・ロー。

2 1824 年に設立されたアシニアムクラブ (Athenaeum Club) は 1830 年、新しい建物の費用捻出のため、200 名まで会員を増やすことを決定した (建物は現在も利用されている)。ミルを含む 100 名の新会員は、(ミルの父が審理する) 委員会によって選出された。その指名候補は 6 月 12 日に公表された。もう 100 人は、全会員による選挙であった。もちろんミ

ルは名前が挙がっており、チャールズ・オースティン (Charles Austin)、最近当選した、ウェスト・ルー選出下院議員チャールズ・バラ (Charles Buller. 1806-1848)、そしてチャールズ・ロミリー (Charles Romilly. 1808-1887) がこの時当選した。弁護士・編集者で、かつてベンサムの書記であったウォルター・カルソン (Walter Coulson. 1794-1860)、トーリー派弁護士で、ミルとの関係はめったに心温まるものではなかったアブラハム・ヘイワード (1801-1884)、自由思想の大法院弁護士ジェームズ・ブース (1796-1880)、そしてもう一人の弁護士ウィリアム・オグル・カー (William Ogle Carr. ca. 1802-1856) は全員、5年後にアシニアムに当選した。才能あるケンブリッジ卒業生で、当時ミルの親友になっていたジョン・スターリング (John Sterling. 1806-1844)、そしてアルバニー・フォンブランク (Albany Fonblanque) の兄で、ミルが寄稿を開始した『イグザミナ』(*Examiner*) の編集者であったジョン・サミュエル・マルティン・ド・グルニエ・フォンブランク (John Samuel Martin de Grenier Fonblanque. 1787-1865) は決して当選することはなかった。

3 後の著名な植物学者で、ジェレミーの弟である准将サミュエル・ベンサム (Brigadier-General Sir Samuel Bentham) の息子ジョージ・ベンサム (George Bentham. 1800-1884) は、つい先日当選した会員の一人であった。ウィリアム・カーは、サミュエル准将の友人トーマス・ウィリアム・カー (Thomas William Carr. d.1829) の息子であった。ジョージ・ベンサムは、ウィリアムの妹ローラ (Laura) に心を奪われていた。